



静岡聖光学院中学校・高等学校

「伸びる」教育で生徒の力を最大化 セントメリーズと提携の新コースも設置



工藤 誠一 理事長・校長
聖光学院中学校高等学校（横浜市）
静岡聖光学院中学校・高等学校（静岡市）

ミッションスクールとして出発した本校には、「地の塩、世の光」という理念があります。これは、他者に貢献する存在であること、そして自らの個性を生かしながら社会に寄与していくことの大切さを示しています。その理念の中には「賜物」という言葉も出てくるのですが、一人ひとりが神様から与えられた固有の資質や個性を持つ存在であり、その賜物を見出し、輝かせていくことが、本校の教育の根幹にあります。

本校は姉妹校である横浜の聖光学院から分かれて成立した系譜の中にあり、その際に掲げたのが「アカデミア」としての学びで、子どもたちの内発的な学

習意欲や探究心を引き出すことを重視してきました。初代校長のロバート先生も、そうした教育のあり方を一貫して説いてこられました。

実際に多くの卒業生が、自分の関心や強みを伸ばすことができた背景には、教員が自由な学びを尊重し、個々の成長を支えてきた土壌があります。こうした本校の本質的な価値を踏まえ、それをいかに現代において最大化していくかが、ここ数年の重要な課題であると考えています。

実り始める進学実績 新コースでより進化を

「アカデミア」を掲げ、長年にわたり継続してきた個人研究の仕組みが、近年さらに洗練され、確かな成果として現れ始めています。今年はカリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）へ進学した生徒もおり、本人も「家庭や学校が自分の興味関心を尊重し、自由に挑戦させてくれたことで、自分の世界が大きく広がった」と話しています。自らの「好き」や探究心を起点に学びを深めていく経験が、結果として世界へ羽ばたく力につながっているといえます。

また、本校では多様な価値観に触れ、異文化を尊重し共生する力を養う国際理解教育にも力

を入れており、今年の夏には国際サミットを開催します。これは2019年から続く取り組みで、アジアや欧州の提携校から多くの生徒・教員を招待してグローバル・イシューについて共に解決策を模索するという「未来を共創する」場となります。今回は熱海市の協力を得て、初めて熱海で開催する運びとなりました。開催地である日本・静岡の魅力や文化的価値を世界へ発信し、地域と世界をつなぐ役割を担えるようになっていってほしいと考えています。

今後、セントメリーズインターナショナルスクールと提携したインターナショナルコースの設置など新たな展開も予定していますが、一人ひとりの賜物を大切に、それを最大限に伸ばしていくという教育の本質は変わることなく、その上で時代に応じた発展を目指していくという姿勢です。

英語力に応じた イメージ教育

本校では学びに天井をつくらず、生徒一人ひとりが夢を実現するための教育プログラムを整え、実践してきました。そして2027年度から「インターナショナル」「アカデミック」の2コースとして、さらに発展さ



①主要教科を英語「で」学ぶ、インターナショナルコース②インド、タイ、イタリアなどから60名以上の生徒が集まった前回の国際サミット③水中ドローンの個人研究では学術学会での発表も行った④今春11年ぶりに全国選抜出場を決めた高校ラグビー部⑤改修を行ったばかりの寮の食堂。入寮は希望制

せていきます。インターナショナルコースは、本校の教育を基盤に、より高度で実践的な英語習得を目指すコースです。英語力別の授業編成で、主に海外帰国生や国内インター出身など高い英語力を持つ生徒を対象に国語と実技以外の教科を英語で学ぶフルイマージョンの「アドバンス」と、週8時間の英語授業を軸にゼロベースからの実践的英語習得を目

指し、個別の学習状況に応じて英語以外の教科も英語で学ぶ「スタンダード」に分かれます。アドバンスとは、Aレベルプログラムのカリキュラムと互換し、国内外双方の進路にも対応可能です。Aレベルは英国の義務教育と同等の学習を積みことができ、修了すれば海外大学の直接出願も可能となる認定資格です。また、バカロレアを採用するセントメリーズとの教育提携により、同校への高校時から編入という選択肢も用意しています。



田中 潤 教頭
静岡聖光学院中学校・高等学校（静岡市）

一方アカデミックコースは、STEMや探究活動をはじめとする本校ならではの多彩な教

PICK-UP

Aレベルプログラムで UCLAに合格

塩澤 幹
2025年度卒業

入学時から海外大学進学に興味があり、水中ドローンのチームに参加したり、近隣の国公立大学の講座やプロジェクトに参加したりするなど、とにかく色々なことに挑戦しました。中学時代に自分のやりたいことを発見でき、志望大学や将来の夢につながりました。Aレベルプログラムもその一つで、カリキュラムには魅力があり学内にはAレベルを専門でサポートしてくれる海外の先生がおり、課題の提出や授業のフォローアップなど、個別で相談に乗ってくれました。アメリカの大学への進学を決めた時からはSAT対策や、自身の研究活動等のまとめ、学会発表に力を入れました。将来はAIチップ開発に携わる技術者として日本に戻ってきたいです。

自律性を養う 週3日の部活動

本校には人工芝のグラウンドや2つの体育館があり、部活動にも多くの生徒が加入しています。特徴的なのが週3日の活動で、練習メニューや活動計画は生徒の自主性に委ねられている点です。1週間の時間の使い方を自由に選択できる環境で、自分で考え、学習と部活動などの課外活動を両立させています。

入試は2科・4科、英語1科目に加え、グループワークなどを行う21世紀型入試、プログラミングの入試も実施します。それぞれに輝く「賜物」を持って

中 学	高 校	目標進路
アカデミックコース すべての教科を日本語で実施 中2から習熟度クラス(英数)／高2から文理選択	▶	最難関国公立大学 医歯薬獣医系学部のある大学
インターナショナルコース(スタンダード) ゼロベースから学べる週8時間の英語授業 英語力に応じて主要教科を英語で受講可能	▶	国公立大学 難関私立大学
インターナショナルコース(アドバンス) 国語と実技以外を英語で学ぶフルイマージョン Aレベルプログラムと互換	▶	海外大学 英語で学ぶ国内大学

いる子にぜひとも来てほしいと考えていますし、もし入学していただければ、最大限にその力を伸ばします。本校で過ごす6年間で自分を見つけ、「楽しい」を伸ばして、希望の進路を叶えられるように我々は全力を尽くします。

